

# 平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 6月 1日(日)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会2日目	Aコート	第1試合 9:30~													
<b>&lt;チームA&gt;</b> <b>柏市立柏</b> 千葉 3位		82 { <table border="0"> <tr><td>16</td><td>1Q</td><td>12</td></tr> <tr><td>24</td><td>2Q</td><td>18</td></tr> <tr><td>18</td><td>3Q</td><td>20</td></tr> <tr><td>24</td><td>4Q</td><td>16</td></tr> </table> } 66	16	1Q	12	24	2Q	18	18	3Q	20	24	4Q	16	<b>&lt;チームB&gt;</b> <b>習志野市立習志野</b> 千葉 4位		
16	1Q	12															
24	2Q	18															
18	3Q	20															
24	4Q	16															

## 【Bブロック】

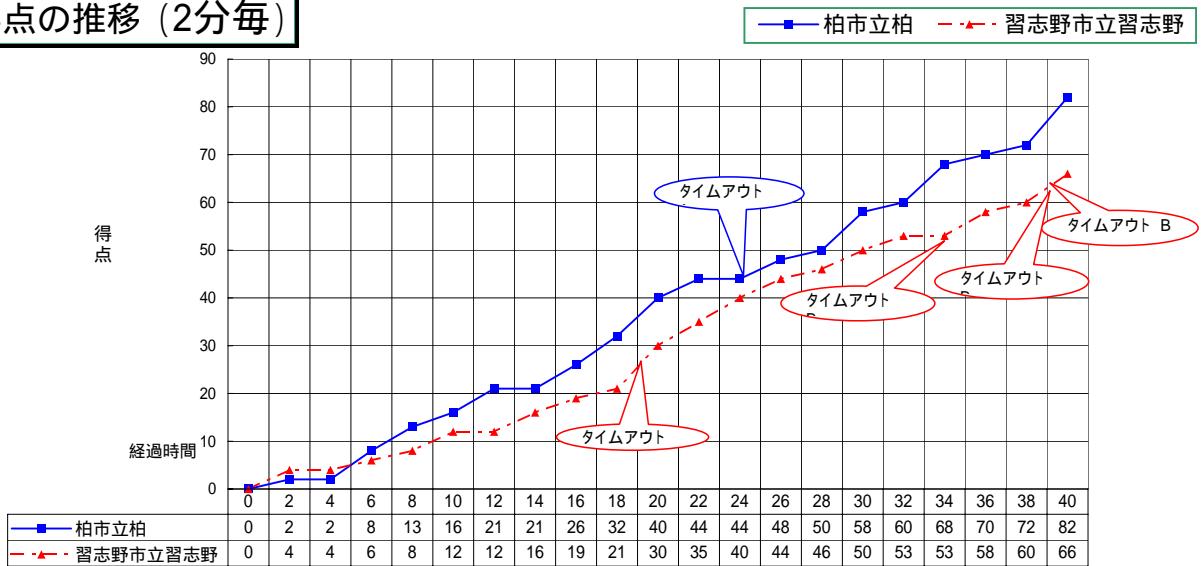
主審: 山田 健一(茨城) 副審: 尾花 幸雄(茨城)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	林 裕輝	9	2		3	2
	5	小山 哲	19	1	7	2	2
	6	吉田 開					3
	7	大久保 和士	21	2	6	3	2
	8	小林 秀平	22	3	5	3	3
	9	佐々木 翔平					
	10	與那城 廣仁					
	11	石川 駿					
	12	菊池 優祐	2		1		4
	13	服部 雄登	3	1			1
	14	小杉 智希	6		3		
	15	矢代 翔					
	16	牧 良輔					
	17	岡田 福嗣					
	18	谷口 潤					
コーチ		稲野辺 聡					
合計			82	9	22	11	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	藤澤 圭佑	24	3	7	1	3
	5	小澤 琢弥					2
	6	臼井 拓也	25	3	5	6	3
	7	種谷 佳祐	6		3		4
	8	田中 雅人	3		1	1	
	9	福島 茂貴					
	10	相内 聡					
	11	宮澤 優作					1
	12	西 雅隆	8		4		3
	13	音羽 亮佑					
	14	長久保 明斗					
	15	河合 裕二					
	16	細貝 航平					
	17	新木 隆寛					
	18	原目 光					
コーチ		内田 雅康					
合計			66	6	20	8	

:スターター / :出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

## 得点の推移 (2分毎)



戦評 記入者: 石津 哲治

千葉対決となった準決勝、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタートする。両チームともオフェンスの形はアウトサイドからの1対1中心のスタイル。序盤、両チームシュートに硬さが目立ち得点を伸ばせない、5分経過しても4-6とロースコアの展開。どちらも主導権を握れないままであったが、終盤に2本の3pシュートを決めた市柏が一步抜け出し16-12とリードして第1P終了。

第2P、第1Pと同様に両チームなかなかシュートが決まらず、膠着した状態が続く。習志野はアウトサイドシュートが不調で得点を伸ばせない。この間に市柏は 林の2本の3pシュートなどで徐々に点差をつけていく。残り1分42秒35-21となったところで習志野はタイムアウトをとる。ここから習志野は 臼井が踏ん張りドライブからバスケットカウントを奪うと続けて3pシュートも決め、市柏に苦しい展開。40-30と市柏リードで前半終了。

第3P、最初に流れをつかんだのは習志野。 臼井の1対1、 藤澤の3pシュートなどで猛追し、残り6分50秒44-40まで点差を詰める。市柏はたまたまタイムアウトを請求する。ここから互いに譲らず2点差と4点差を繰り返す一進一退の攻防が続く。ピリオド終盤、市柏は 大久保の気持ちのこもったオフェンスリバウンドなどで流れを引き戻し、58-50と再びリードをつけて第3P終了。

第4P、市柏が先手をとっていく。 小林の3pシュート、 大久保のバスケットカウントなどでリードを広げていく。諦めない習志野も 臼井の3pシュート、 藤澤のミドルシュートで粘りを見せる。しかし、市柏 大久保のオフェンスリバウンドが光り、習志野はなかなか攻守のリズムをつくれぬ。残り2分、習志野は 藤澤が意地の2連続3pシュートを決め、オールコートディフェンスで最後の粘りを見せるが、市柏は落ち着いてボールを回しタイムアップ。市立柏が決勝に進出した。